

都内企業の景況感

— 第128回企業動向調査結果 平成29年10月実施 —



◎ 都内中小企業の景況は回復、先行きも高い水準が続く見通し。

| | | | | | | |
|---|------------------|-------|---|---------------------|---|-------|
| 1. 都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が前回の12.5から今回23.9へと、11.4ポイント上昇し、回復している。先行きについて同DI*は、2.1ポイントの低下ながら21.8と高い水準が続く見通し。 | (景気指標 DI) | 前回 | ⇒ | 今回 | ⇒ | (先行き) |
| | 自社業況判断 DI* | 12.5 | ⇒ | 23.9 (前回予想 17.3) | ⇒ | 21.8 |
| 2. 売上高DI*は、前回の8.6から今回17.9へと9.3ポイント上昇、経常利益DI*は、5.8から16.2へ10.4ポイント上昇した。先行きについては、売上高DI*、経常利益DI*ともに上昇する見通し。 | 売上高 DI* | 8.6 | ⇒ | 17.9 (前回予想 14.4) | ⇒ | 23.1 |
| | 経常利益 DI* | 5.8 | ⇒ | 16.2 (前回予想 9.7) | ⇒ | 17.2 |
| 3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回7.3と2.9ポイント上昇、仕入れ価格DIは、27.0と5.3ポイント上昇した。先行きについては、販売価格DI、仕入れ価格DIともに上昇する見通し。 | 販売価格 DI | 4.4 | ⇒ | 7.3 | ⇒ | 8.1 |
| | 仕入れ価格 DI | 21.7 | ⇒ | 27.0 | ⇒ | 29.6 |
| 4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の5.3から今回8.0へと2.7ポイント上昇し、運転資金需要DI*は、前回の7.5から今回8.2へと0.7ポイント上昇した。先行きについては、両DI*ともに上昇する見通し。 | 製造業製品在庫 DI* | -6.9 | ⇒ | -4.2 | ⇒ | ... |
| | 設備資金需要 DI* | 5.3 | ⇒ | 8.0 | ⇒ | 14.3 |
| 5. 金融機関借入難易感DIは、今回24.7と1.2ポイント低下、資金繰りDIは、今回11.6と0.5ポイント低下した。 | 運転資金需要 DI* | 7.5 | ⇒ | 8.2 | ⇒ | 10.1 |
| | 金融機関借入 難易感 DI | 25.9 | ⇒ | 24.7 | ⇒ | ... |
| 6. 経営上の問題点の第1位は、前回同様「労働力不足・求人難」でシェア18.0%、第2位は、前回3位の「人材難」が16.2%、第3位は、前回2位の「同業他社との競合」が14.8%、第4位は、「売上不振」で9.1%、第5位は、「人件費等経費の増加」で8.0%、第6位は、「原材料高・仕入れ価格高」で7.1%、第7位は「合理化不足」で4.9%、第8位は、「取引先からの値引き要請」4.5%であった。 | 資金繰り DI | 12.1 | ⇒ | 11.6 | ⇒ | ... |
| | (経営上の問題点) | (前回%) | | (今回%) | | |
| | 労働力不足・求人難 | 17.1 | ⇒ | 18.0 | | |
| | 人材難 | 15.7 | ⇒ | 16.2 | | |
| | 同業他社との競合 | 15.9 | ⇒ | 14.8 | | |
| | 売上不振 | 9.0 | ⇒ | 9.1 | | |
| | 人件費等経費の増加 | 7.6 | ⇒ | 8.0 | | |
| | 原材料高・仕入れ価格高 | 6.6 | ⇒ | 7.1 | | |
| | 合理化不足 | 4.9 | ⇒ | 4.9 | | |
| | 取引先からの値引き要請 | 4.7 | ⇒ | 4.5 | | |

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は自社業況判断*、売上上げ*、経常利益*、設備資金需要*の4指標の平均値(前回 8.1、今回 16.5、先行き 19.1)で判断したもの。前回は「晴れ時々曇り」今回は「晴れ」、先行きは「晴れ」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標はマークなし。
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。

東京都民銀行(頭取:坂本 隆)は、東京圏の中小・中堅企業を主な対象に年3回、景況調査を実施しております。このほど、平成29年6月～平成29年10月の実績見込みによる前年同時期との比較、および調査時点以降6カ月の見通しについての「第128回企業動向調査」の結果がまとまりましたのでご報告いたします。

今回調査の概要:

| | | | | |
|------------|-------------|-------------|------|--------|
| 1. 調査対象企業数 | 920 | 3. 回答企業の構成比 | | |
| 2. 回答企業数 | 277 | | (件数) | (%構成比) |
| | (回収率 30.1%) | 製造業 | 113 | 40.8 |
| | | 非製造業 | 164 | 59.2 |
| | | 合計 | 277 | 100.0 |
| | | 従業員 30人以下 | 118 | 42.6 |
| | | 従業員 31～99人 | 90 | 32.5 |
| | | 従業員 100人以上 | 69 | 24.9 |

1. 自社業況判断、売上、利益

(1) 自社業況判断DI

自社業況判断DI*は、前回の12.5から、今回23.9と11.4ポイント上昇した。中小企業の景況は回復している。

業種別で見ると、製造業のDI*は20.1と7.4ポイント上昇し、非製造業のDI*は26.3と13.4ポイント上昇した。

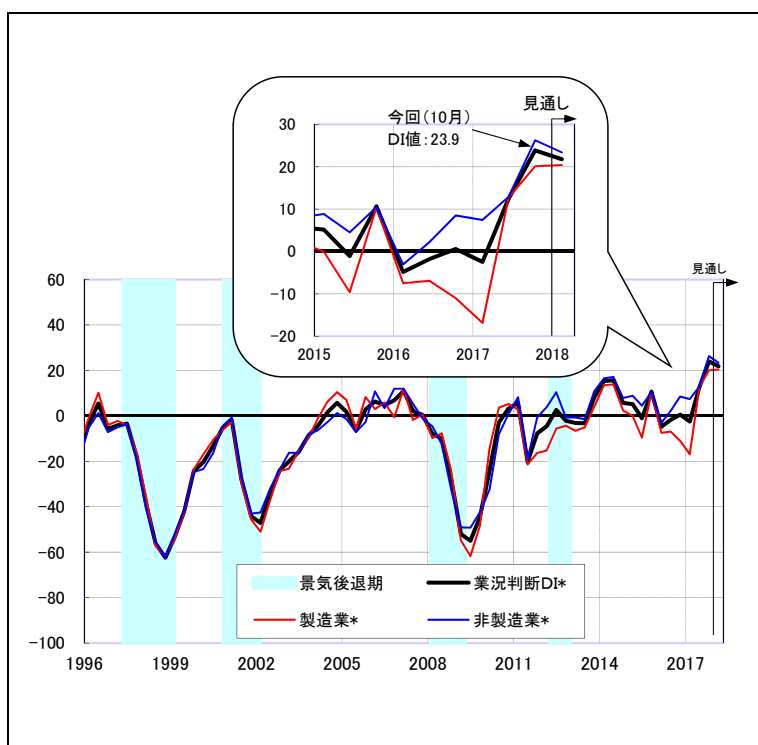
製造業の個別14業種のなかでは、電気機器など6業種のDIが上昇した。

非製造業の個別7業種のなかでは、建設など3業種のDIが上昇した。

先行き(今後6ヵ月間)については、製造業はほぼ横這い、非製造業は低下する見通し。

(図1)業況判断DI*の推移

| | 前々回 (2月) | 前回 (6月) | 今回 (10月) | 見通し |
|------|-------------|------------|-------------|------|
| 全産業 | -2.4 | 12.5 | 23.9 | 21.8 |
| 製造業 | -16.9 | 12.7 | 20.1 | 20.4 |
| 非製造業 | 7.4 | 12.9 | 26.3 | 23.4 |



(2) 売上高DI

売上高DI*は、前回の 8.6 から今回、17.9 へと9.3ポイント上昇した。

業種別で見ると、製造業のDI*は今回、11.6と前回から1.6ポイント低下、非製造業のDI*は22.3と17.6ポイント上昇した。

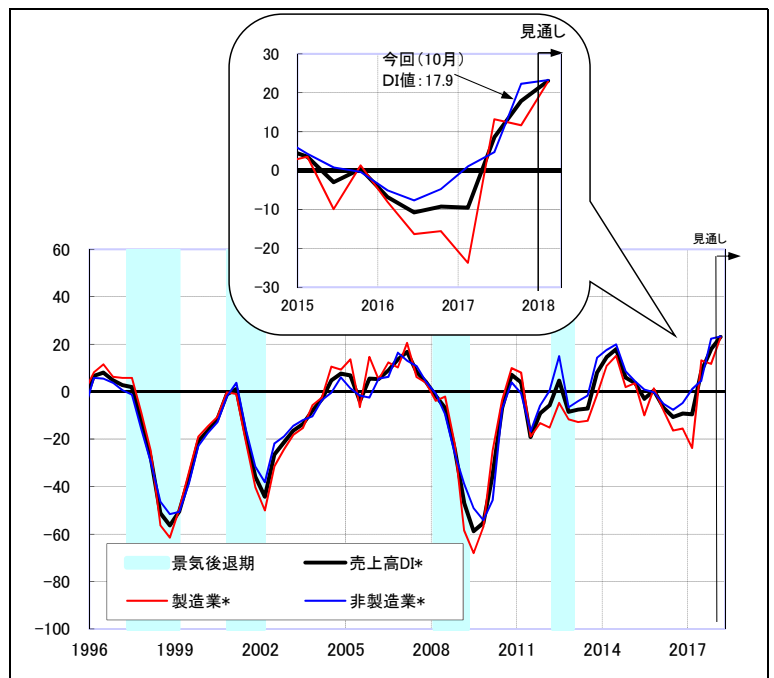
製造業の個別14業種のなかでは、印刷・同関連など7業種のDIが低下した。

非製造業の個別7業種のなかでは、卸売など4業種のDIが上昇した。

先行き(今後6ヵ月間)については、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図2) 売上高DI*の推移

| | 前々回 (2月) | 前回 (6月) | 今回 (10月) | 見通し |
|------|-------------|------------|-------------|------|
| 全産業 | -9.5 | 8.6 | 17.9 | 23.1 |
| 製造業 | -23.8 | 13.2 | 11.6 | 22.9 |
| 非製造業 | 1.1 | 4.7 | 22.3 | 23.3 |



(3) 経常利益DI

経常利益DI*は、今回 16.2 と、前回の 5.8 から 10.4ポイント上昇した。

業種別では、製造業のDI*は今回10.2と前回から1.0ポイント低下、非製造業のDI*は今回20.4と18.3ポイント上昇した。

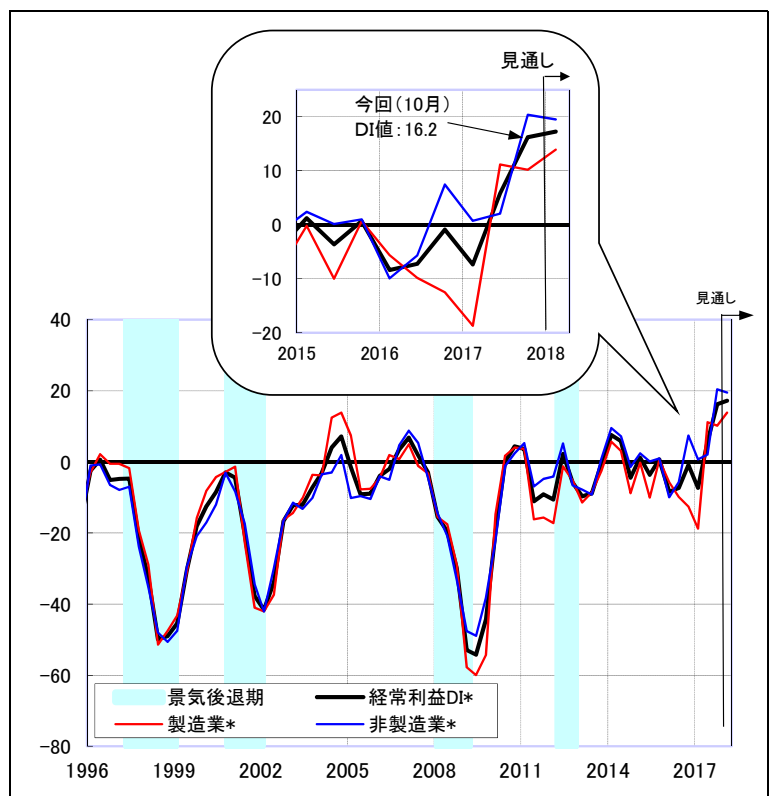
製造業の個別14業種のなかでは、電気機器など7業種のDIが低下した。

非製造業の個別業種のなかでは、卸売など4業種のDIが上昇した。

先行き(今後6ヵ月間)DI*は、製造業は上昇、非製造業は低下する見通し。

(図3) 経常利益DI*の推移

| | 前々回 (2月) | 前回 (6月) | 今回 (10月) | 見通し |
|------|-------------|------------|-------------|------|
| 全産業 | -7.3 | 5.8 | 16.2 | 17.2 |
| 製造業 | -18.7 | 11.2 | 10.2 | 13.9 |
| 非製造業 | 0.7 | 2.1 | 20.4 | 19.5 |



2. その他の指標

(4) 販売価格

販売価格DIは今回 7.3 で、前回の 4.4 から 2.9 ポイント上昇した。

業種別では、製造業のDIは 0.9 と前回から 2.7 ポイント上昇、非製造業のDIは 11.9 と 3.2 ポイント上昇した。

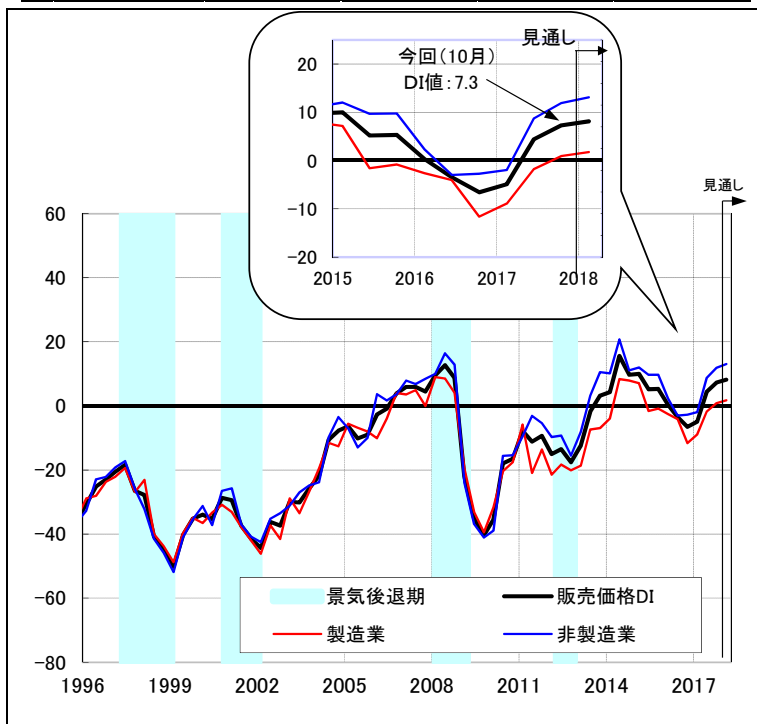
製造業の個別 14 業種のなかでは食料品など 5 業種のDIが上昇した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、小売など 5 業種のDIが上昇した。

先行きDIは、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図4) 販売価格DIの推移

| | 前々回 (2月) | 前回 (6月) | 今回 (10月) | 見通し |
|------|-------------|------------|-------------|------|
| 全産業 | -4.9 | 4.4 | 7.3 | 8.1 |
| 製造業 | -8.9 | -1.8 | 0.9 | 1.8 |
| 非製造業 | -1.9 | 8.7 | 11.9 | 13.1 |



(5) 仕入れ価格

仕入れ価格DIは、今回 27.0 と前回の 21.7 から 5.3 ポイント上昇した。

業種別では、製造業のDIは今回 30.9 と 10.4 ポイント上昇し、非製造業のDIは 24.2 と 1.7 ポイント上昇した。

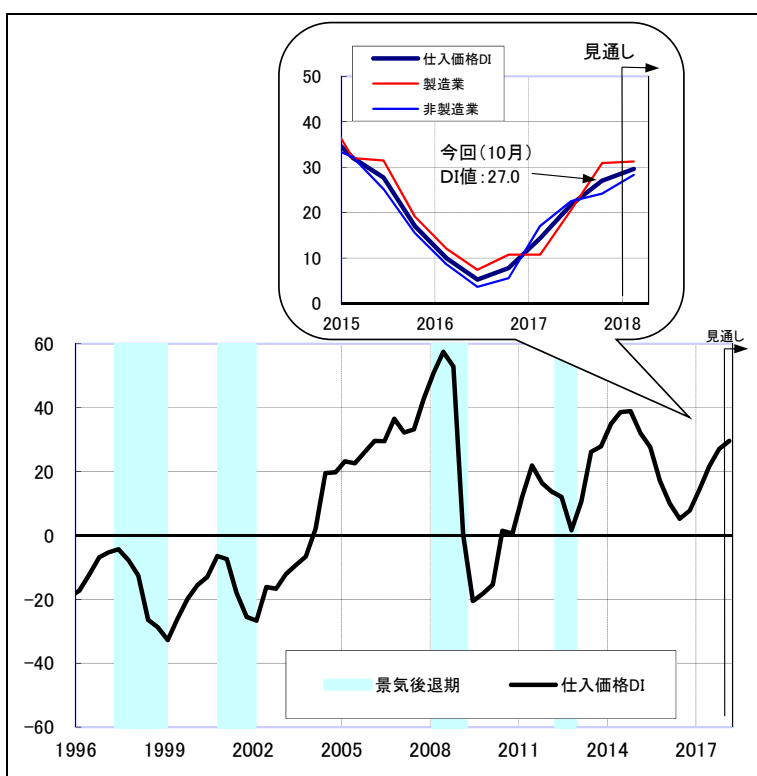
製造業の個別 14 業種のなかでは、金属製品など 8 業種のDIが上昇した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、運輸など 5 業種のDIが上昇した。

先行きDIは、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図5) 仕入れ価格DIの推移

| | 前々回 (2月) | 前回 (6月) | 今回 (10月) | 見通し |
|------|-------------|------------|-------------|------|
| 全産業 | 14.4 | 21.7 | 27.0 | 29.6 |
| 製造業 | 10.7 | 20.5 | 30.9 | 31.3 |
| 非製造業 | 17.1 | 22.5 | 24.2 | 28.3 |



(6) 製商品在庫

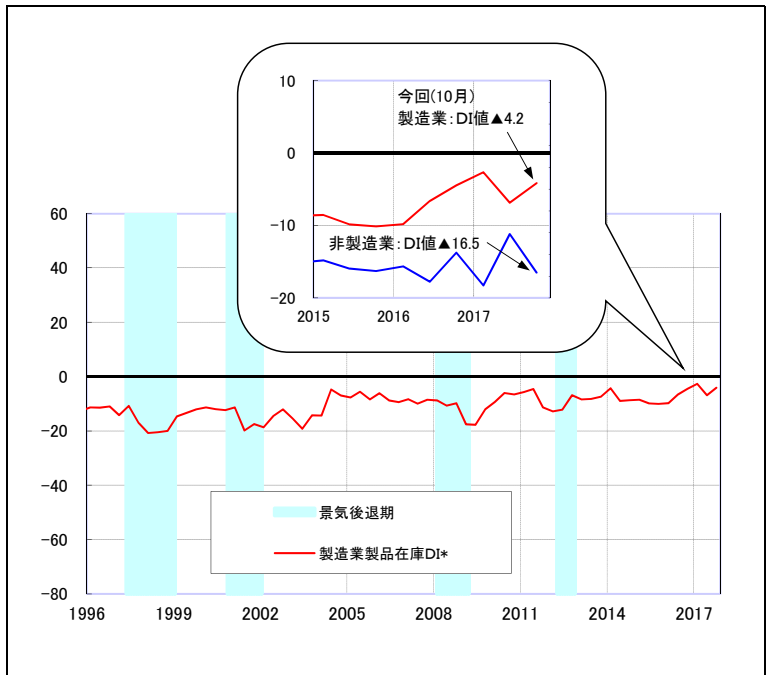
製造業製品在庫DI*は、今回-4.2と前回の-6.9から2.7ポイント上昇し、非製造業商品在庫DI*は、今回-16.5と前回の-11.2から5.3ポイント低下した。

(注)DI値*は、「不足」-「過剰」

(注)「非製造業」は、卸売業と小売業の合計

(図6)製品在庫DI*の推移

| | 前々回 (2月) | 前回 (6月) | 今回 (10月) |
|------|-------------|------------|-------------|
| 製造業 | -2.6 | -6.9 | -4.2 |
| 非製造業 | -18.3 | -11.2 | -16.5 |



(7) 設備資金需要

設備資金需要DI*は、今回8.0と前回の5.3から2.7ポイント上昇した。

業種別では、製造業DI*は今回4.1と前より6.2ポイント低下、非製造業DI*は11.0と9.4ポイント上昇した。

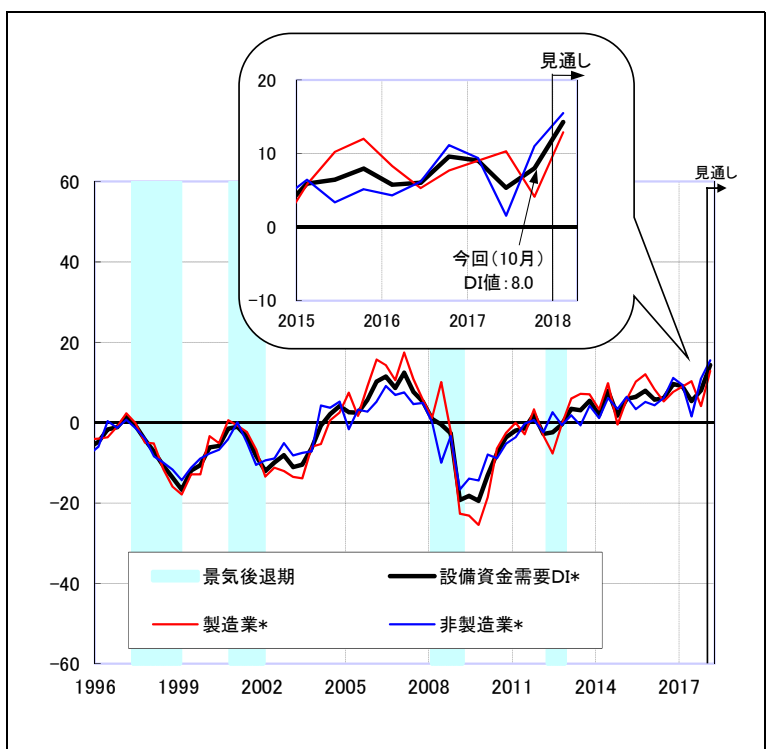
製造業の個別14業種のなかでは、一般機械など8業種のDIが低下した。

非製造業の個別7業種のなかでは、卸売など4業種のDIが上昇した。

先行きDI*は、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図7)設備資金需要DI*の推移

| | 前々回 (2月) | 前回 (6月) | 今回 (10月) | 見通し |
|------|-------------|------------|-------------|------|
| 全産業 | 9.0 | 5.3 | 8.0 | 14.3 |
| 製造業 | 9.0 | 10.3 | 4.1 | 12.9 |
| 非製造業 | 9.4 | 1.6 | 11.0 | 15.5 |



(8) 運転資金需要

運転資金需要DI*は、今回 8.2 と前回の 7.5 から 0.7 ポイント上昇した。

業種別では、製造業DI*は今回 8.2 と前回より 2.8 ポイント低下、非製造業DI*は 7.3 と 2.2 ポイント上昇した。

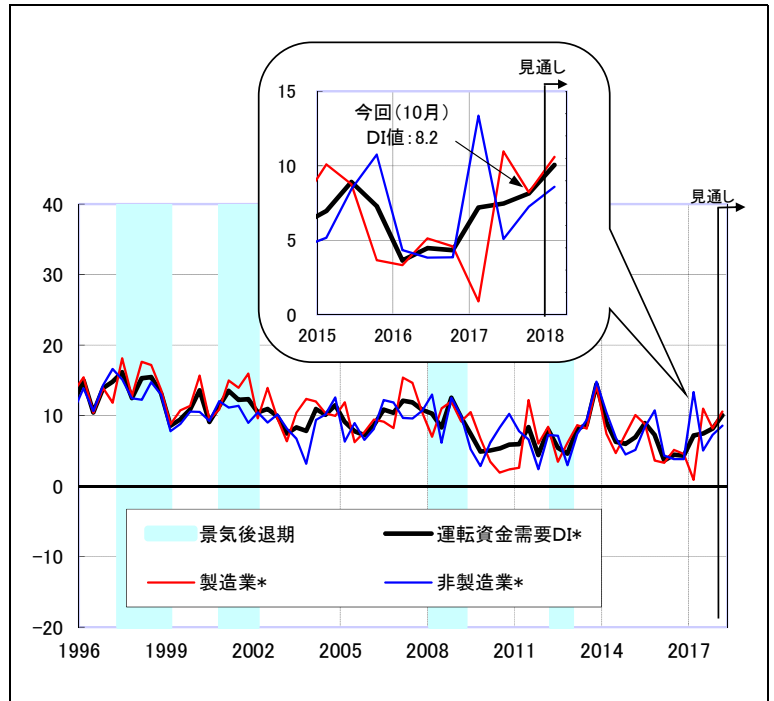
製造業の個別 14 業種のなかでは、その他製造業など 5 業種のDIが低下した。

非製造業では建設など 2 業種のDIが上昇した。

先行きDI*は、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図8) 運転資金需要DI*の推移

| | 前々回 (2月) | 前回 (6月) | 今回 (10月) | 見通し |
|------|-------------|------------|-------------|------|
| 全産業 | 7.2 | 7.5 | 8.2 | 10.1 |
| 製造業 | 0.9 | 11.0 | 8.2 | 10.6 |
| 非製造業 | 13.4 | 5.1 | 7.3 | 8.6 |



(9) 金融機関借入難易感

金融機関借入難易感DIは、今回 24.7 で前回の 25.9 から 1.2 ポイント低下した。

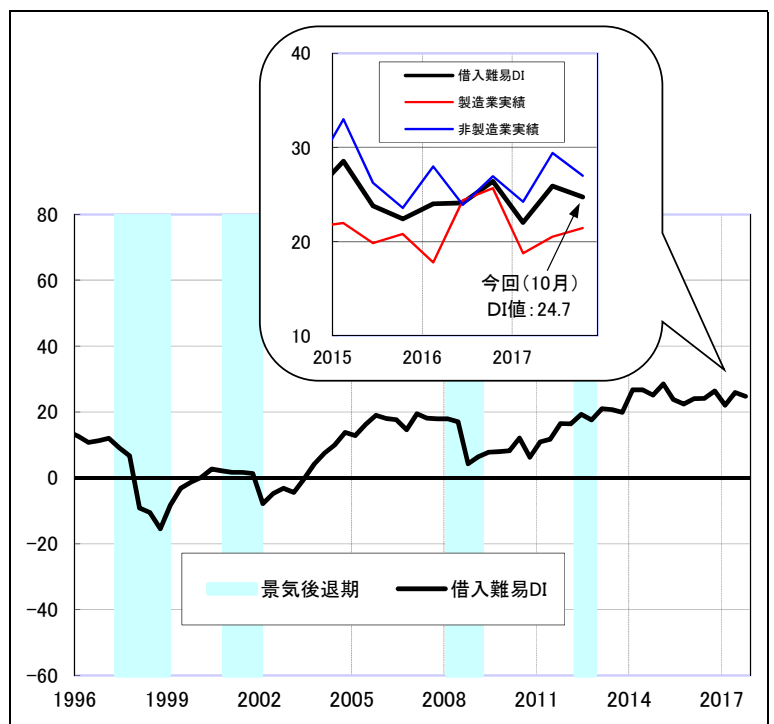
業種別では、製造業のDIは、今回 21.4 で前回から 0.9 ポイント上昇、非製造業は 27.0 と 2.4 ポイント低下した。

製造業のなかでは、電気機器など 5 業種のDIが上昇した。

非製造業の中では、情報通信など 3 業種のDIが低下した。

(図9) 金融機関借入難易感DIの推移

| | 前々回 (2月) | 前回 (6月) | 今回 (10月) |
|------|-------------|------------|-------------|
| 全産業 | 22.0 | 25.9 | 24.7 |
| 製造業 | 18.8 | 20.5 | 21.4 |
| 非製造業 | 24.2 | 29.4 | 27.0 |



(10) 資金繰り

資金繰りDIは今回 11.6 と、前回の 12.1 から 0.5 ポイント低下した。

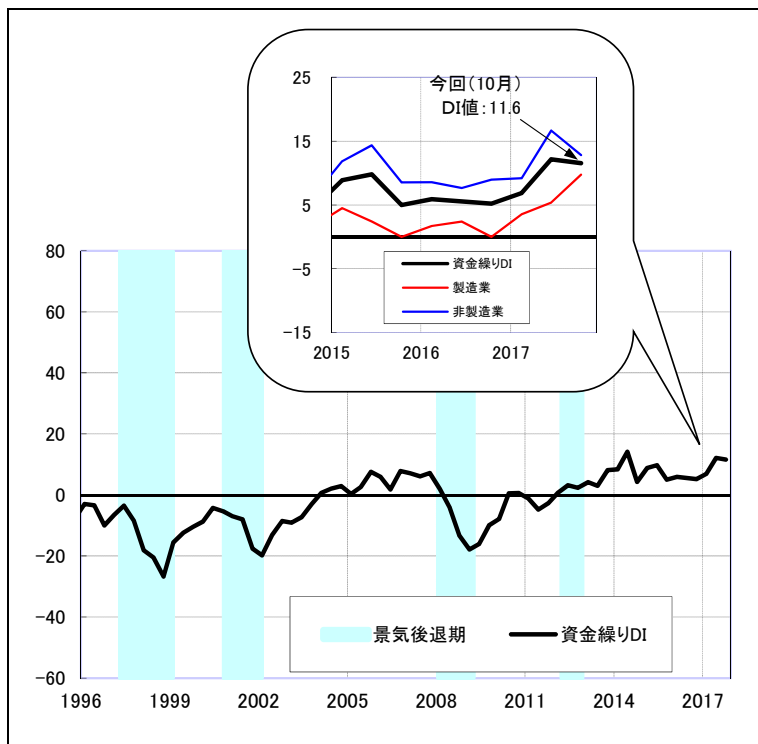
業種別では、製造業のDIは、今回 9.7 と 4.3 ポイント上昇、非製造業のDIは、今回 12.8 と 3.9 ポイント低下した。

製造業のなかでは、紙・紙加工品など 6 業種のDIが上昇した。

非製造業の中では、サービスなど 4 業種のDIが低下した。

(図10) 資金繰りDIの推移

| | 前々回 (2月) | 前回 (6月) | 今回 (10月) |
|------|-------------|------------|-------------|
| 全産業 | 6.9 | 12.1 | 11.6 |
| 製造業 | 3.5 | 5.4 | 9.7 |
| 非製造業 | 9.2 | 16.7 | 12.8 |

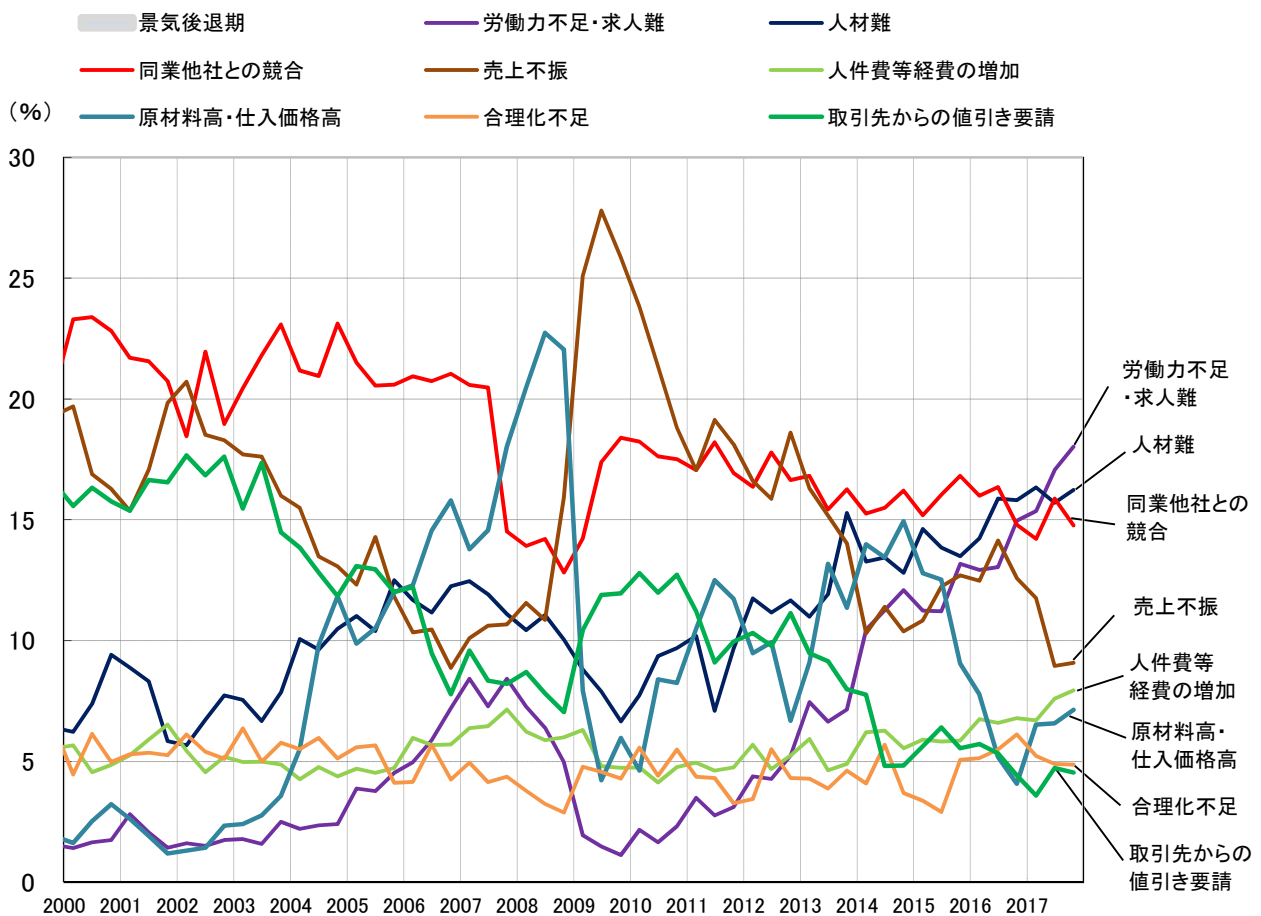


3. 経営上の問題点

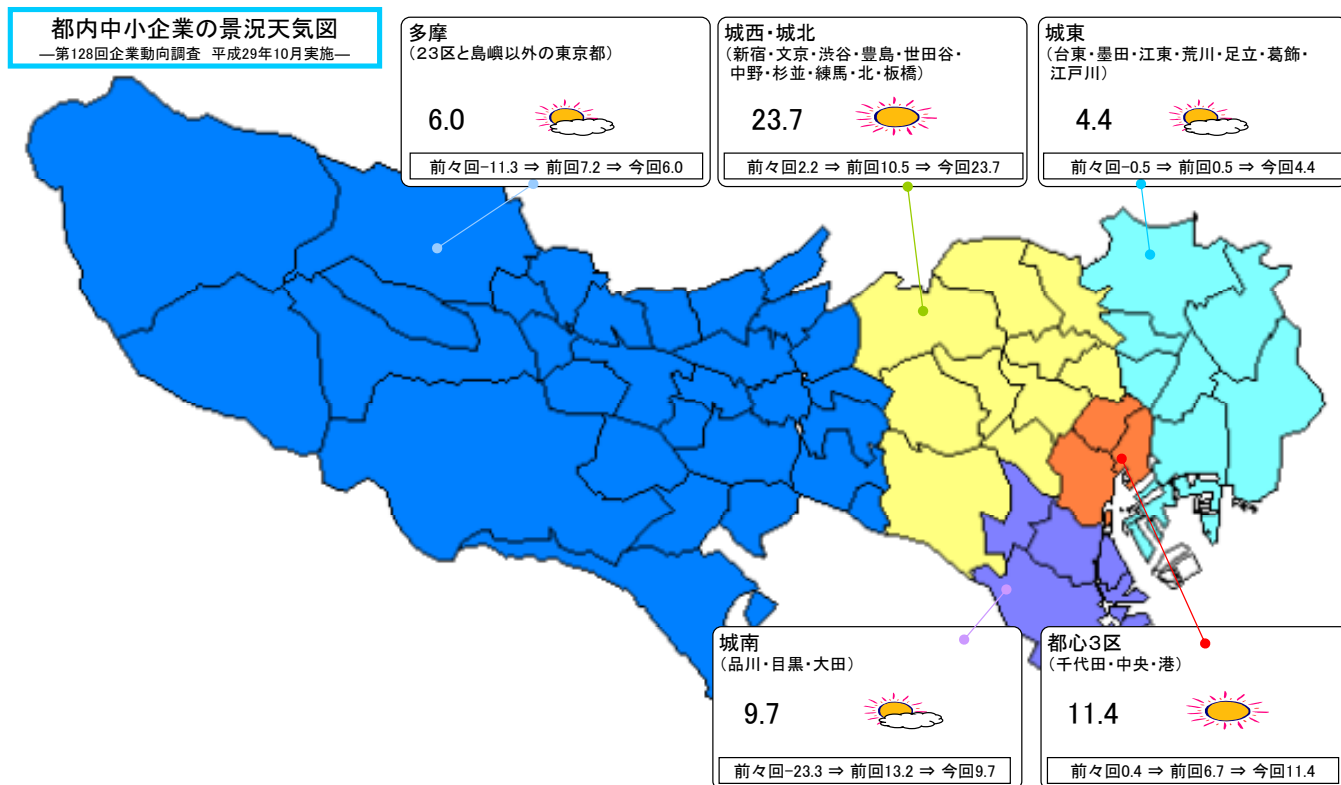
* 下図は、自社の経営上特に障害となっている事項として複数の○印をつけていただいたアンケート回答総数を100%として、それぞれの問題点が全体の何%を占めるか構成比を算出し、2000年～最近時点までをグラフで示したものです。

- 第1位は、「労働力不足・求人難」で構成比は18.0%と、前回の17.1%から0.9ポイント増加した。
- 第2位は、「人材難」で16.2%と、前回の15.7%から0.5ポイント増加した。
- 第3位は、「同業他社との競争」で、14.8%と、前回の15.9%から1.1ポイント減少した。
- 第4位は、「売上不振」で、9.1%と前回の9.0%からほぼ横這いであった。
- 第5位は、「人件費等経費の増加」で、前回の7.6%から0.4ポイント増加し8.0%となった。
- 第6位は、「原材料高・仕入価格高」で、7.1%と前回の6.6%から0.5ポイント増加した。
- 第7位は、「合理化不足」で4.9%、第8位は、「取引先からの値引き要請」の4.5%であった

(図11) 経営上特に障害となっている事項。複数回答の%構成比の推移



4. 都内中小企業の景況天気図（参考）



表は、都内経済のアンケート調査に基づいた当行独自のものです。

| 天気図表示の意味 | | | | | | |
|----------|----|--------|-----|----|----|---|
| | 晴れ | 晴れ時々曇り | 薄曇り | 曇り | 小雨 | 雨 |

- 上記景況天気図は、第98回(2007年10月)調査より、企業動向調査アンケート票に、所在地の項目を追加したものを利用して、上記6つの地域ごとに、①自社業況判断DI、②売上高DI、③経常利益DI、④設備資金需要DIの原数値を平均した数値を基に判断した、当行独自のものです。

本件に関するお問い合わせ先：
 東京都民銀行 コンサルティング事業部
 ホームページ URL <http://www.tominbank.co.jp>
 <担当：(株)きらぼしコンサルティング 辻川>
 TEL： 03(5280)0080(代)